

女子学生のダイオキシンと母性機能に関する意識調査

前田隆子、福井典子*、三瓶まり

Takako MAEDA, Michiko FUKUI and Mari SAMPEI

A study on female students' knowledge about dioxin and maternal function

近年、ゴミ焼却場から排出されるダイオキシンについての記事がマスコミで報道されて、社会的な問題となり、周辺住民の不安が高まっている。また、母乳中に高濃度のダイオキシンが含有されているという報告^{1, 2)}があり、授乳期にある母親のなかには不安を訴えるものがある。

本報告では、母性機能の準備期の年齢層にある女子学生が、ダイオキシンの問題をどのように考えているかについて調査した。

方 法

調査の主旨を説明し、鳥取大学医療技術短期大学部

看護学科2年次の女子学生82名(年齢19~21才)に調査用紙を配布し、回収箱を設けて同日に回収した。回収率は100%であった。調査期日は平成11年6月であり、母性看護学における妊娠に関する講義の終了後であった。使用した調査用紙は資料1に示した。調査の内容は①ダイオキシンの有害性と発生源の知識(質問項目1~3)、②自分の体との関連知識(4~6)、③出産授乳の関連知識(7、8)、④授乳すると仮定した場合の悩みと母乳の利点についての知識(9、10)、⑤妊娠出産への心構え(11、12)、⑥ダイオキシンへの対応(13、14)である。

資料1. 調 査 用 紙

それぞれの設問について、()内の選択肢に1つ○印をお付け下さい。

1. ダイオキシンは人間にとって非常に有害な物質であることを知っていましたか。
(たいへんよく知っている、かなり知っている、知っている、少し知っている、知らない)
2. ダイオキシンはプラスチックやビニールなどを燃やすことによって発生することを知っていましたか。
(かなりよく知っている、知っている、少し知っている、知らない)
3. ポリ塩化ビニールからレインコート、傘、運動靴の底、消しゴム、パンスト、サンダル、ゴム手など、またポリ塩化ビニリデンからラッピングフィルム、コンビニ弁当のふた等非常に多くの日常生活用品が作られていることを知っていましたか。
(かなりよく知っている、知っている、少し知っている、知らない)
4. 環境汚染が自分の健康と直接関係があると思いますか
(かなりそう思う、そう思う、少しそう思う、そんなことはない)
5. 食物の汚染の可能性の高いものは、脂肪の多い、特に近海で取れる魚介類であることを知っていましたか。
(かなりよく知っている、知っている、少し知っている、知らない)
6. 食物繊維、中でも緑黄色野菜、種実、海藻、豆等は人体内のダイオキシンの排出を促すといわれていることを知っていましたか。
(知っている、少し知っている、知らない)

7. 母体にたまったダイオキシンは胎盤を通して、胎児に移行することを知っていましたか。
(知っている、少し知っている、知らない)
8. 食べ物や呼吸をとおして取り込まれたダイオキシンは、体内脂肪に蓄積しており、母乳をとおして赤ちゃんに送り込まれることを知っていましたか。
(知っている、少し知っている、知らない)
9. 今、あなたが出産したら、ダイオキシン問題との関連で母乳を与えるかどうかについて悩むと思いますか。
(非常に悩むと思う、悩むと思う、少し悩むと思う、悩まない)
10. 現状では、母乳中にダイオキシンが入っていても、それを上回る母乳の利点があると言われていたことを知っていましたか。
(知っている、少し知っている、知らない)
11. 自分は将来、こどもを産む存在であることを考えていますか。
(いつも、かなり、考えている、時々、ほとんど考えない)
12. 自分は将来、こどもを産むわけだから、体によい暮らし方をしようと考えていますか。
(いつも考える、かなり考える、考える、時々考える、ほとんど考えない)
13. ダイオキシンは気にしても仕方がないと思っていますか?
(かなりそう思う、そう思う、少しそう思う、そんなことはない)
14. ゴミの分別収集は決められたとおりにしていますか
(いつも、かなり、半分くらい、時々、しない)

結 果

1、ダイオキシンの有害性と発生源の知識

ダイオキシンは人間にとって非常に有害な物質であるという知識について、「少し」としたものは学生82名中3名で3.7%であり、他の79名は「知っている」以上であった（図1）。プラスチックやビニールの燃焼によって発生することに関する知識について、「ない」は7名で8.5%、「少し」は15名で18.3%、「知っている」以上は60名で73.2%であった（図2）。そして、これらのビニールなどは、多くの日常生活用品の原料として使用されているという知識については「ない」は9名で11%、「少し」は23名で28%であり、「知っている」以上は50名で61%であった（図3）。

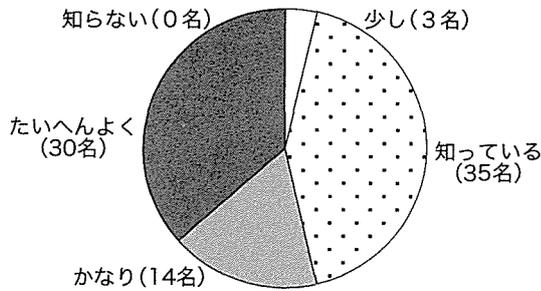


図1 有害性の認識

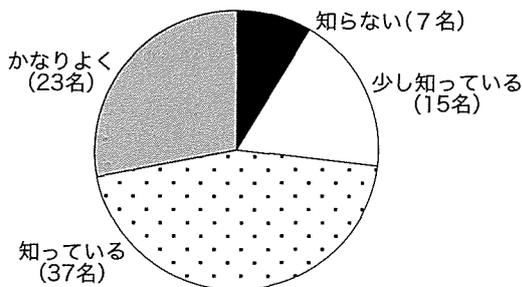


図2 発生源に関する知識

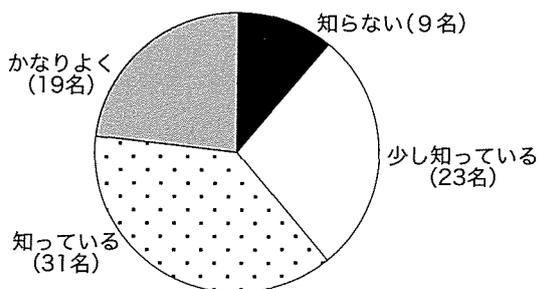


図3 ビニール等の製品

2、自分の体との関連知識

環境汚染が自分の健康と直接関係があると「思う」

としたものは30名36.6%であり、「少し」は49名59.8%、「そんなことはない」は3名3.7%であった（図4）。

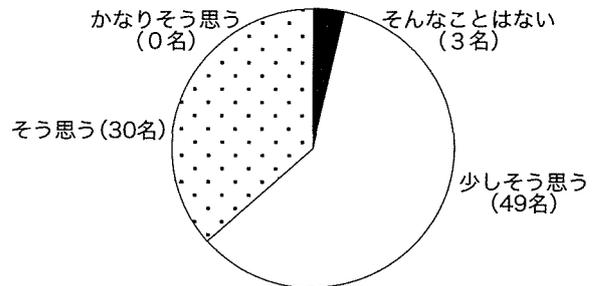


図4 環境汚染と自分の健康との関連

近海魚類のダイオキシン汚染についての知識については、「知っている」以上が30名36.6%であり、食物繊維摂取によるダイオキシンの体外排出の可能性についての知識については、「知っている」以上が12名14.6%であった（図5、6）。

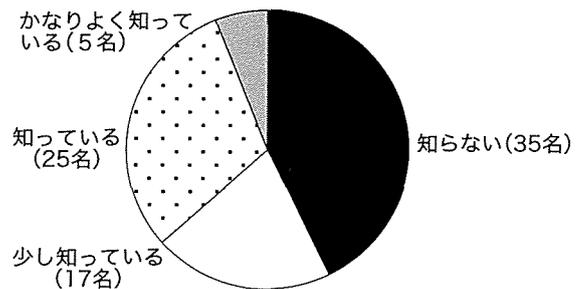


図5 近海魚類の汚染の可能性

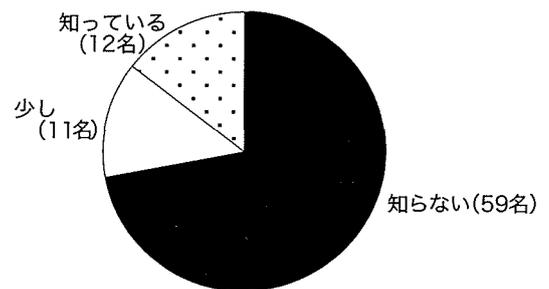


図6 食物繊維によるダイオキシンの体外への排出

3、出産授乳の関連知識

ダイオキシンが胎盤を通過して胎児に移行することを、「知っている」としたものは64名78%であった。

母乳に排出することを「知っている」としたものは、56名68.3%であった（図7、8）。

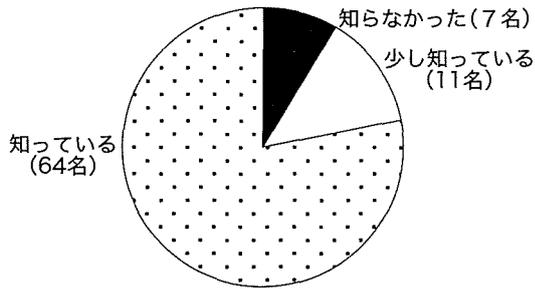


図7 ダイオキシンの胎児への移行

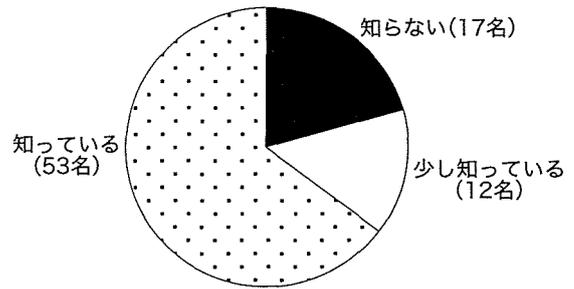


図10 母乳の利点を知っているか

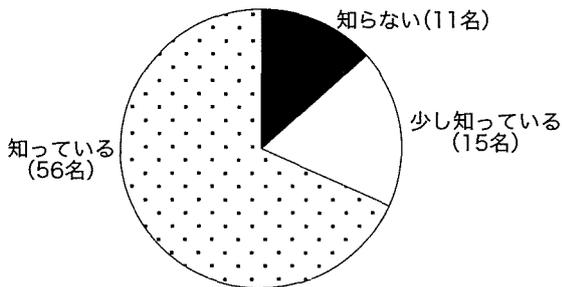


図8 ダイオキシンの母乳への移行について知っているか

4、授乳する立場にあると仮定した場合の悩みと母乳の利点についての知識

授乳することについて「悩まない」という解答者は、40名48.8%であり、「少し」のものは33名40%で、「悩む」は1名1%、そして「非常に悩むと思う」は8名9.8%であった（図9）。

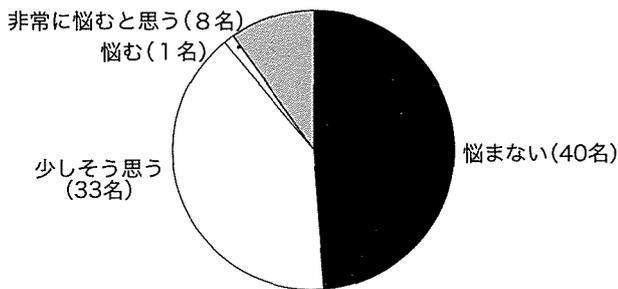


図9 母乳を与えるか悩むと思うか

母乳中にダイオキシンが入っていても、現状では、それを上回る母乳の利点があることを知っているかについての解答は、「知っている」53名64.6%、「少し知っている」12名14.6%、「知らない」17名20.7%であった（図10）。

授乳することについて悩むかどうかということと母乳の利点を認識しているかということの関連についてみると、ダイオキシンが入っていてもそれを上回る母乳の利点があることを知っていながら、それでもダイオキシンが含有することについて悩むとするものが7.3%あった（表1）。

表1 授乳することを悩むかどうかと母乳の利点の認識の関連 (%)

		母乳の利点を知っているか		
		知らない	少し知っている	知っている
授乳することについて悩むと思うか	悩まない	12.2	7.3	29.3
	少しそう思う	4.9	7.3	28.5
	悩む	1.2	0	0
	非常に悩むと思う	2.4	0	7.3

5、妊娠出産への心構えについて

将来子どもを産む存在であることを意識しているかについての解答は、「いつも」と「かなり」と解答したものが35名42.7%、「考えている」は25名30.5%、「時々」は11名13.4%、「考えない」は11名13.4%であった（図11）。

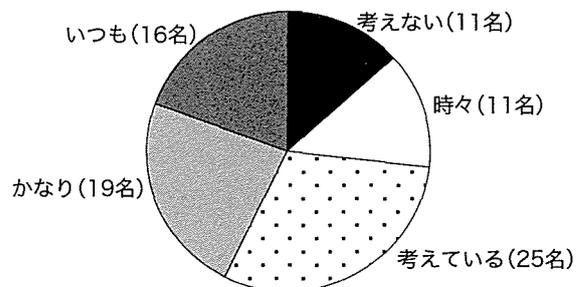


図11 こどもを産む存在であると思うか

将来子どもを産むわけであるから、体により暮らしをしようと考えているかについての解答は、「いつも」と「かなり」が11名13.4%、「考えている」は21名25.6

、「時々」は30名36.6%、「考えない」は20名24.4%であった（図12）。

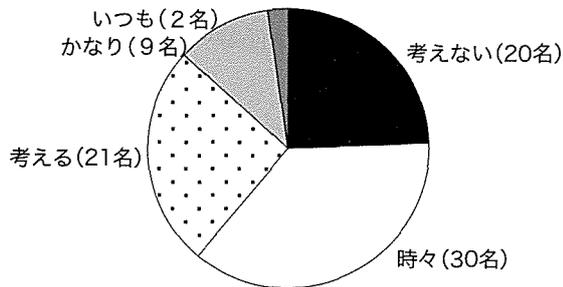


図12 体によい暮らしをしようとする

6. ダイオキシンへの対応について

ダイオキシンは気にしても仕方がないと思っているかという問いについての回答は「かなりそう思う」6名7.3%、「少しそう思う」33名40.2%、「そんなことはない」43名52.4%であった。

ゴミの分別収集を行っているかについては、「しない」2名2.4%、「時々」8名9.8%、半分15名18.3%、「かなり」以上が57名69.5%であった。（図13、14）。

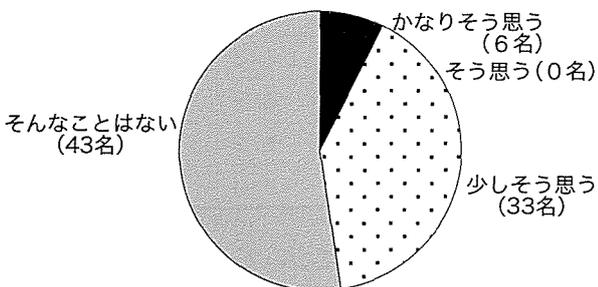


図13 気にしても仕方がないと思う

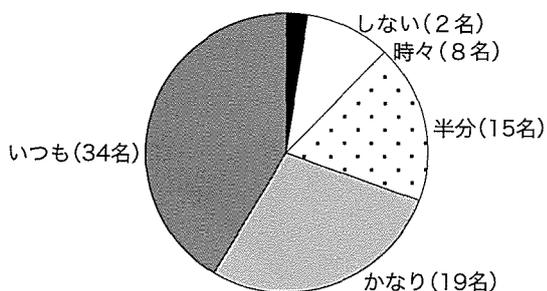


図14 ゴミの分別収集を行っているか

考 察

ダイオキシンについては、青酸カリの一万倍もの急性毒性や極めて高い発癌性、催奇形性があることが知られている。授乳期にある母親が、これらに関連する報告を読んでいる場合には、母乳を与えることに不安

をもつものと推察し、若い女性がどのような知識を持っているのかを調査した。

1. ダイオキシンの有害性、自分の体への影響についての知識

ダイオキシンの有害性に関する知識は96.3%（図1）が持っているが、燃焼によってダイオキシンの発生源になる具体的な製品に関する知識の少ないものが約40%（図3）であり、近海魚類のダイオキシン汚染についての知識が少ないものは約63%（図5）であった。

近年になって、ダイオキシンによる母乳の汚染が話題になり、しかも母親の摂取食品、とくに脂肪のある近海魚からの取り込みが問題視されるようになってきている。厚生省研究班³⁾によると食品からの摂取量の67.5%が魚貝類であったと報告している。しかし一方、知的発達や視力形成にとって、魚貝類に多く含まれる脂肪酸・ドコサヘキサエン酸（DHA）の重要性が指摘⁴⁾されている。著者らが1994年に実施した、出産2週後の褥婦の食生活調査から、58%が肉類と魚類の両方を週3回以上摂取していることを報告⁵⁾した。母乳の質が母親の摂取する食品の影響を受けることになると、食品の質の確保が重要となる。何を摂取すればよいのかという混乱を避けるためには、これから妊娠・出産をする女性に、食材の選択に必要な知識の学習が必要となる。

2. 授乳することに伴う不安

授乳することを「非常に悩む」のではないかと解答したものは9.8%（図9）であった。実際に授乳する立場にある女性では、さらに悩み、あるいは心配が深刻であろうと推察する。母乳は乳児にとって理想的な栄養食品であるとされてきている。WHOは、1987年に、「母乳中にはダイオキシン類が含まれているが、母乳栄養には乳幼児の健康と発育に関する明確な根拠があることから、母乳栄養を推奨すべきである」と勧告している。これは、母乳中に明らかにダイオキシンが排出されていることを表わしており、決して安全であるという保証ではない。安心して母乳を与えられる環境を取り戻すための取り組みが急がれる。

3. 日常の心がけ

体によい暮らしをしようとして「考えない」24.5%（図12）、ならびにゴミの分別収集を実施しているかは、「半分」以下が30.5%（図14）という状況であった。このような意識の低さではダイオキシンの発生を抑えることは困難である。一人ひとりが日常的に、積極的にゴミ対

策に取り組めるような啓蒙が必要である。

要 約

1. 女子学生82名（年齢19～21才）を対象に質問紙による調査を実施した。調査内容はダイオキシンと母性機能、とくに授乳に関連する意識である。
2. 燃焼してダイオキシンを発生する製品のうち日常生活で使用されている具体的な物についての知識の少ないものが約40%、そして近海魚類のダイオキシン汚染についての知識の少ないものが約63%あった。
3. 授乳すると仮定して、ダイオキシンの含有する母乳を与えることを非常に悩むとしたものは、9.8%あった。
4. ゴミの分別収集を実施しているかという問いに半

分以下としたものが30.5%あり、日常的なゴミ対策の啓蒙が必要である。

文 献

- 1) 多田裕、産婦人科の世界、51（1）、87-93、1999.
- 2) 住吉好雄、母性衛生、39（4）、11-14、1998.
- 3) 平成8年度厚生科学研究、平成8年度研究報告書、1997.
- 4) 奥山治美、食物が脳の働きに影響を与えるか、蛋白・核酸・酵素、35、275-279、1990.
- 5) 前田隆子、高山美佐子、三瓶まり、笠置綱清、田中俊行、岩井伸夫、能勢隆之、鳥大医短部研報、25、15-24、1996.

Summary

1. This investigation was carried out by questionnaire on 82 female students (19~21 years). The content involved their awareness of dioxin and maternal function, especially related to nursing.
2. About 40% of the subjects had little knowledge about material things used in daily life which are eventually burned and put off dioxin.
3. About 63% of the subjects had little knowledge about fish being polluted by dioxin.
4. About 9.8% of the subjects worried about suspected dioxin in the milk of breastfeeding mothers.
5. As for the question, Do you separate your garbage sometimes (i.e., one day you separate your garbage and another day you don't) and throw it away?, 30.5% of the subjects said yes.

